

資料編

1 自転車ネットワーク計画 参考資料

(1) 対象路線の検討

自転車ネットワーク路線は、下記の選定条件により選定しています。
各項目に該当する路線は、P. 2～P. 8 のとおりです。

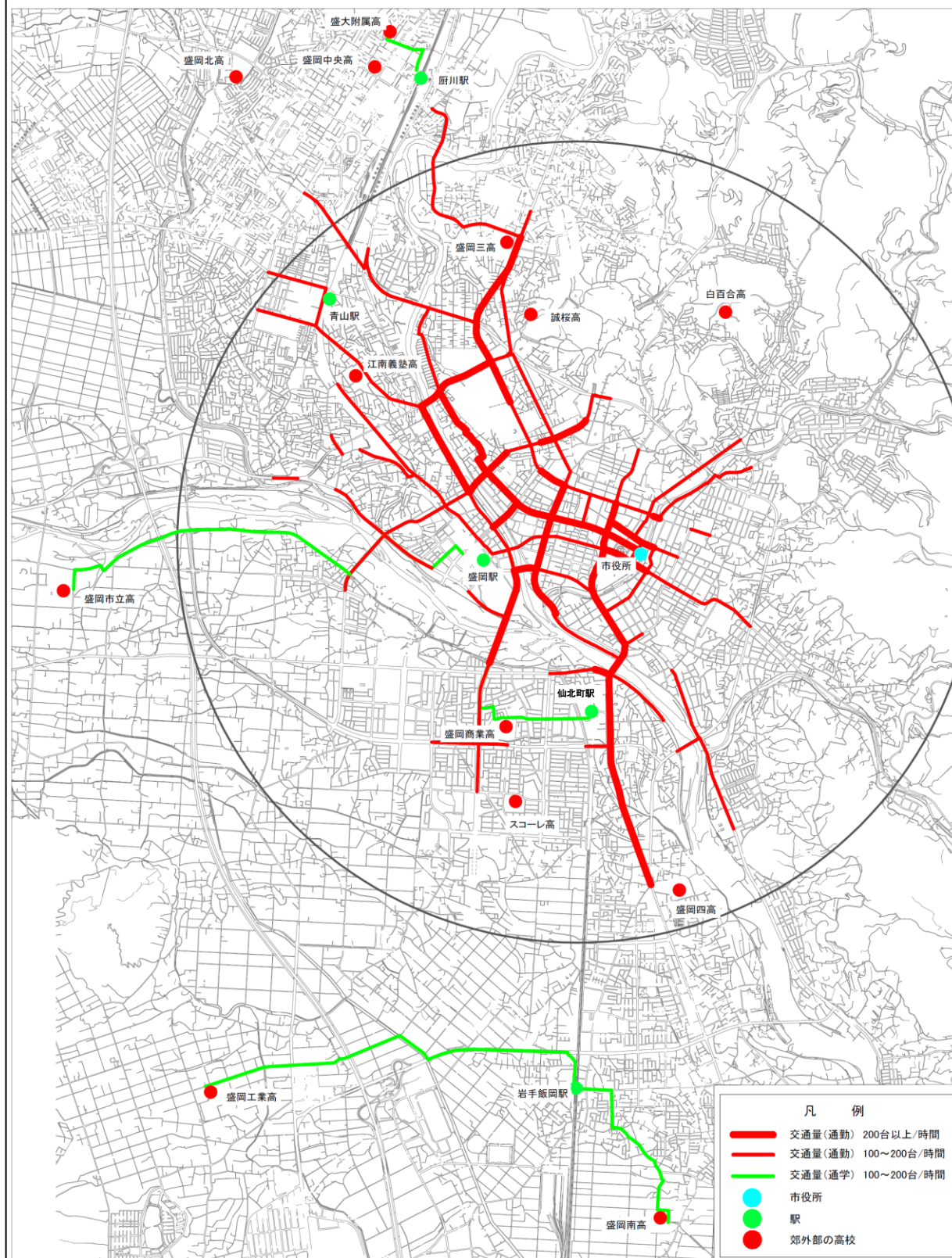
自転車ネットワーク路線の選定条件

選定条件	頁番号
ア 通勤通学時間帯における自転車利用者が多い 100 台/時間以上が見込まれる路線	P. 2
イ 通勤通学時の自転車需要が多い路線	P. 3～4
ウ 自転車関連の事故が多く、自転車走行空間整備により安全性を向上させる必要がある路線	P. 5
エ 上位計画又は関連計画において、自転車走行空間を確保することが位置付けられている路線	P. 6
オ 既に自転車の走行空間（自転車道、自転車専用通行帯、自転車専用道路等）が整備されている路線	P. 7
カ 自転車ネットワークの連続性を確保するために必要な路線	P. 8

ア 自転車利用者が多い路線

自転車通勤通学ルート調査及び自転車交通量調査の結果に基づき、通勤通学時間帯における自転車利用者が多い100台/時間以上が見込まれる路線は、下記のとおりです。

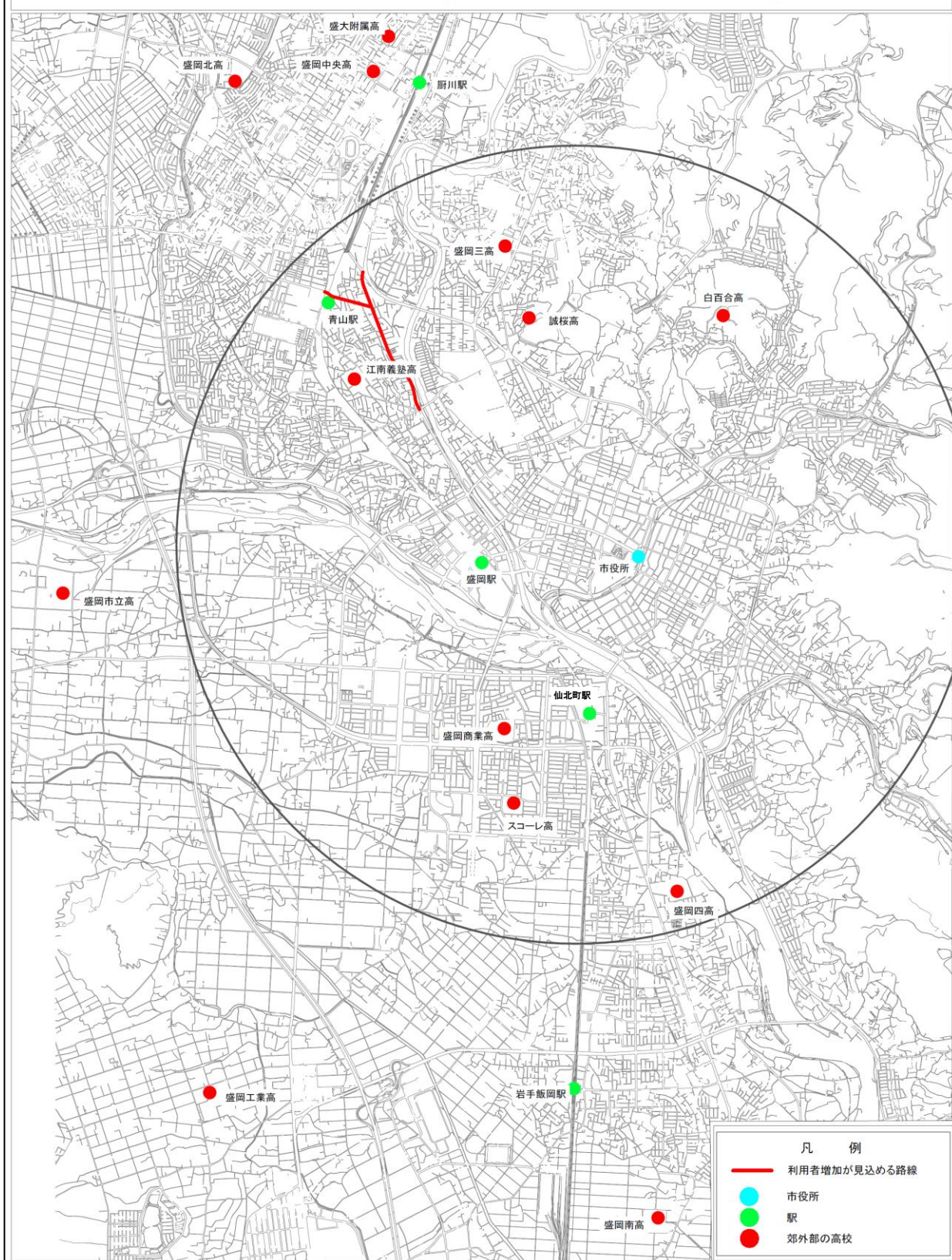
ネットワーク路線の選定(通勤通学路)



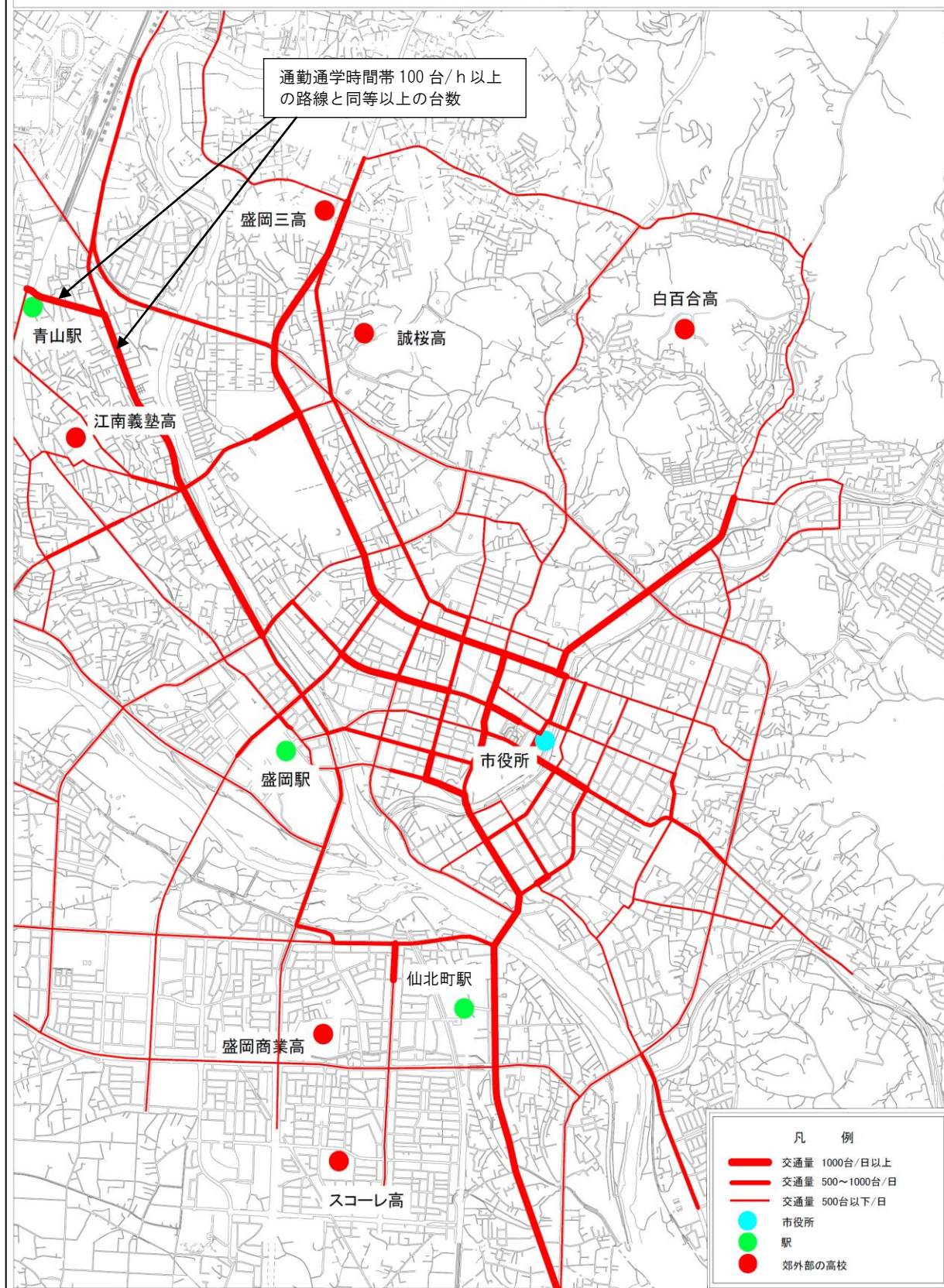
イ 通勤通学時の自転車需要が多い路線

自転車走行空間整備により、自転車利用者の増加が見込まれる路線は、下記のとおりです。なお、自転車交通配分図を次ページに示します。

ネットワーク路線の選定(利用者増加)

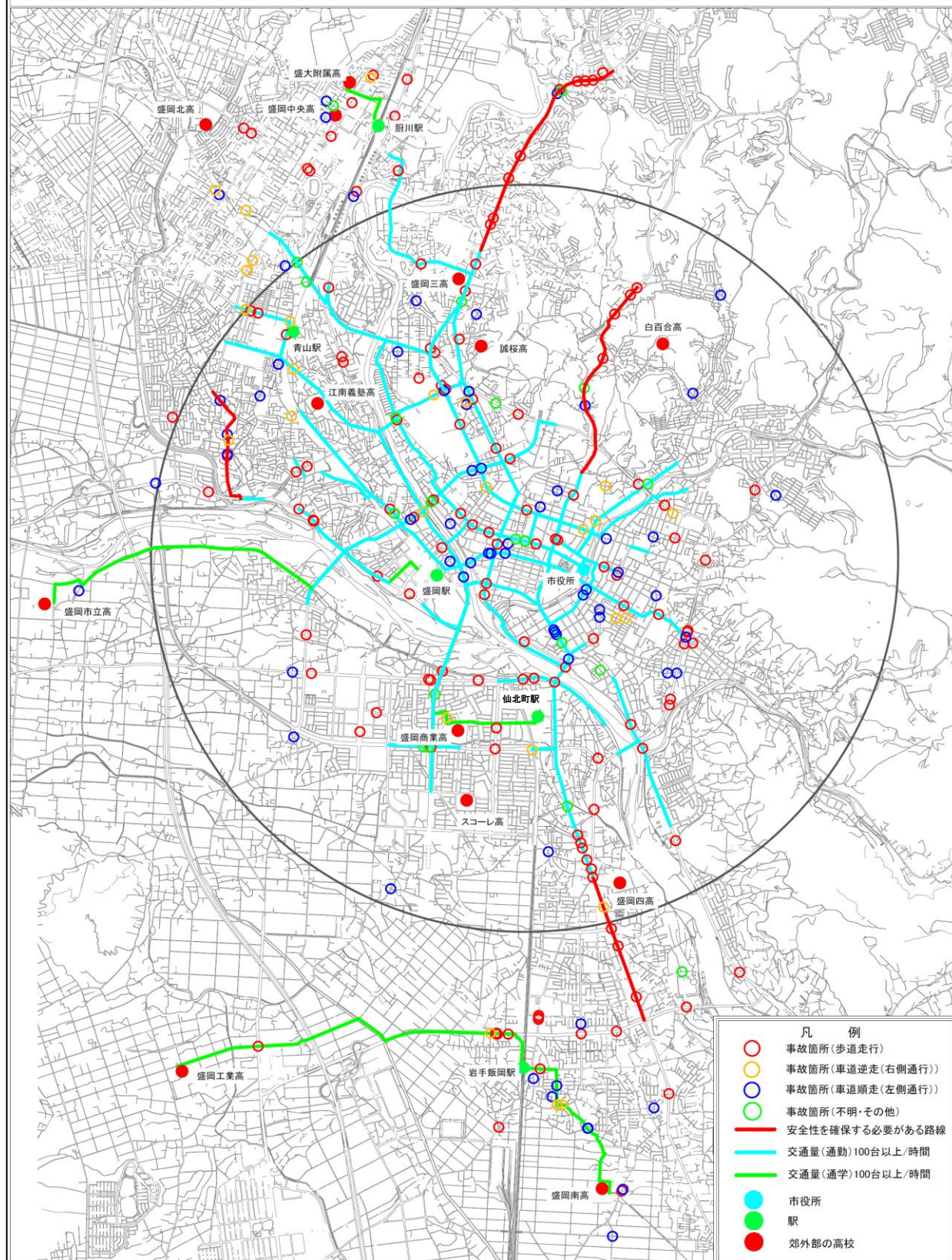


自転車交通配分図



- ウ 安全性を確保する必要がある路線
 自転車関連の事故が多く、自転車走行空間整備により安全性を向上させる必要がある路線は、下記のとおりです。

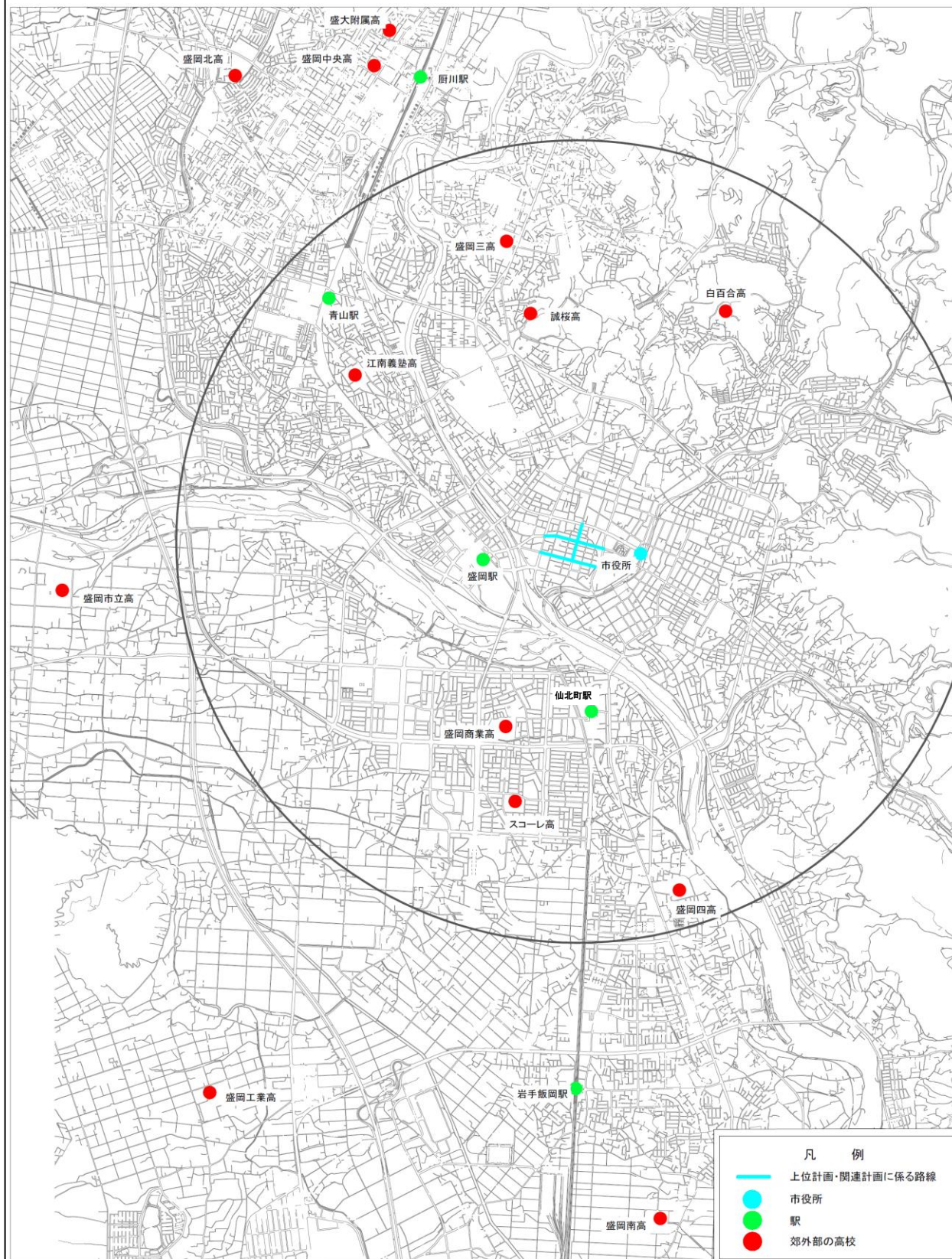
ネットワーク路線の選定(安全性確保路線)



エ 上位計画で位置付けがある路線

上位計画又は関連計画において、自転車走行空間を確保することが位置付けられている路線は、下記のとおりです。

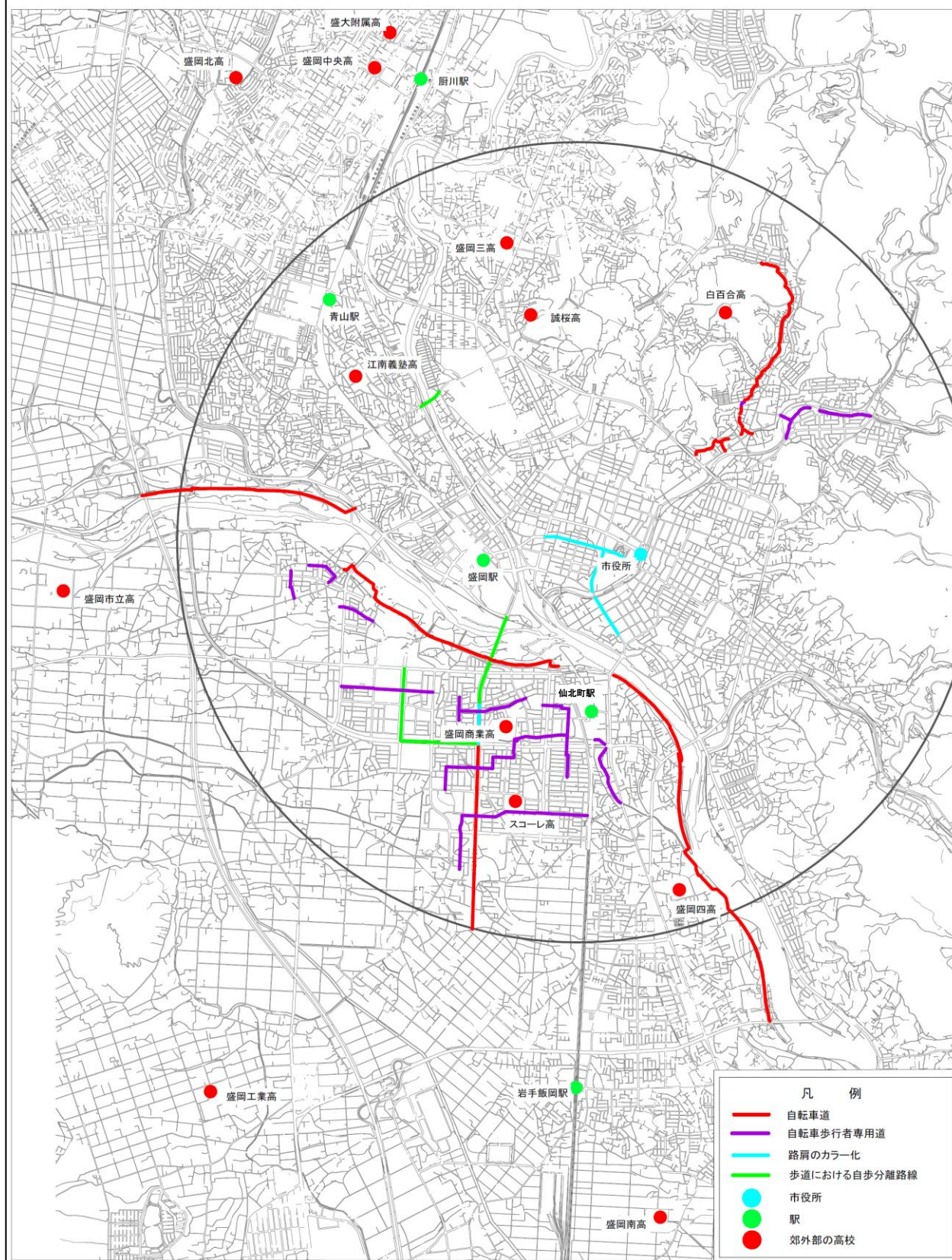
ネットワーク路線の選定(上位計画・関連計画)



オ 整備済み路線

既に自転車の走行空間（自転車道、自転車専用通行帯、自転車専用道路等）が整備されている路線は、下記のとおりです。

ネットワーク路線の選定（整備済み路線）



カ 連続性を確保する路線

自転車ネットワークの連続性を確保するために必要な路線は、下記のとおりです。

ネットワーク路線の選定(補完路線)

